

一般社団法人日本調理科学会 平成 24 年度第 3 回理事会議事録

日時 平成 24 年 8 月 23 日 (木) 17:00~19:00  
場所 ホテルメトロポリタン秋田 (〒010-8530 秋田県秋田市中通七丁目 2 番 1 号)  
出席者 大越ひろ会長、長尾慶子副会長・長野宏子副会長、  
飯田文子・石井克枝・和泉眞喜子・笠松千夏・北尾悟・佐藤之紀・四宮陽子・杉山智美・高倉裕・成清ヨシエ・西堀すき江・山下満智子各理事、  
磯部由香・菅原悦子・高村仁知・津田淑江・吉岡慶子各支部長、  
今井悦子・真部真里子両監事、  
欠席者 香西みどり副会長、大谷貴美子・河野一世・白杉直子各理事、加藤みゆき支部長は委任状出席 (理事 25 名、監事 2 名、合計 27 名)。  
本日の理事会は定款第 33 条 (理事 25 名中 20 名出席、委任状 5 名、計 25 名) の規程を満たし成立。

1. 会長挨拶

大越ひろ会長より挨拶があった。

2. 議長選出 大越ひろ会長

議事録作成人 西堀すき江庶務担当理事

議事録署名人 会長および長尾慶子筆頭副会長、今井悦子監事

3. 前回議事録確認 (資料 1)

前回の議事録 (案) について確認がなされ、次の点を追記した旨の説明があり、全員一致で承認された。

9.その他の(3)その他として、「中田ビジネスコンサルティングと昨年度に引き続き契約したいとの提案があり、承認された。」

4. 議事および報告

1) 大会準備状況

① 事業報告の件 (資料 2)

- ・平成 24 年度事業報告会の予定時間は 20 分とする。
- ・開会の辞 (長尾慶子副会長)
- ・会長挨拶 (大越ひろ会長)
- ・会場校挨拶 (秋田大学 熊田亮介副学長)
- ・4.報告の 1) 一般社団法人第 I 期事業報告 (香西みどり副会長) の資料は印刷物ではなく PP で映写。平成 23 年度の内容と合わせ簡単に説明する。
- ・一般社団法人平成 24 年度事業計画 (香西みどり副会長)
- ・一般社団法人平成 24 年度収支予算 (高倉裕理事)
- ・一般社団法人平成 24・25 年度役員について (大越ひろ会長)
- ・次期開催地支部長挨拶 (高村仁和近畿支部長)
- ・閉会の辞 (長尾慶子副会長)

② 学会賞授与式の件 (資料 2)

- ・学会賞授与式の予定時間は 20 分とする。
- ・今回、功労賞の推薦者が例年より多かったが、一般社団法人としての最初の大会であること、当該会員は長年ご尽力いただいたことなどから、全員を功労賞対象者とした。
- ・開式の辞 (長野宏子副会長)
- ・学会賞選考経過報告 (香西みどり選考委員)

【学会賞授与】

学会賞 淵上倫子氏・森高初恵氏

奨励賞 大石恭子氏

功労賞 笠井八重子氏・谷洋子氏・中谷延二氏・福田靖子氏・東盛キヨ子氏・

宮澤節子氏・和田治子氏

- ・お祝いの言葉 (大越ひろ会長)
- ・学会賞受賞者挨拶 (淵上倫子氏)
- ・閉式の辞 (長野宏子副会長)

③ その他

- ・今大会の長沼誠子実行委員長が理事会を欠席であったため、菅原悦子東北・北海道支部長から開催地としての挨拶があった。

- ・7月30日に、大越ひろ会長が秋田大学の学長を表敬訪問し、また、長沼誠子実行委員長との打ち合わせを行った。
- 2) 常置委員会の報告 (資料4)
  - ① 編集委員会報告
    - ・「来年より学会年度に合わせ、4月発行号を巻1号とする」との報告に対し、各巻の6号は巻号と年がずれ不都合でないかとの意見が出された。編集委員会で他の学会誌の状況等を再検討し、決定事項を各理事にメール配信することになった。
    - ・学会誌2号に掲載の研究発表募集要項の用紙を色上質紙に変更。
    - ・来年度の学会誌表紙(4)及び後付けの広告を募集中。企業への勧誘依頼あり。
    - ・今年度大会の長沼実行委員長へ、学会誌6号に掲載する大会記録の原稿作成(10月初旬締切)、大会講演者に学会誌転載の許可依頼、の2点を依頼した。
  - ②情報管理委員会
    - ・大会の研究発表演題登録のシステム管理はアトラス社のpasregを使用した。
    - ・研究発表抄録のJ-stageでの公開は、大会終了後1週間程あとになる。
- 3) 研究委員会の報告 (資料3)
  - ①「災害時のメニュー開発に関する研究委員会」
    - ・市販の本として出版するため、地方のメニューを削減した。各支部に10冊送付する。
  - ②「加熱調理研究委員会」
    - ・8月24日(金)12:10~13:10に報告会を行う。報告は東京ガス(株)の杉山智美理事。
  - ③新しい研究の立ち上げ
    - ・先の理事会で大越ひろ会長から長野宏子副会長(企画広報担当)に依頼した学会全体で取り組める研究企画について、「聞き書 郷土の食事(案)」が提示され、委員会組織の報告、並びに企画案に対し質疑応答があった。
    - ・委員は企画広報担当理事の他、実行部隊として理事以外の会員にも依頼する。委員会組織は、委員長(長野宏子副会長)、副委員長(河野一世理事・中澤弥子氏)、委員(成清ヨシエ理事、大谷貴美子理事)、各支部長等で構成する。
    - ・企画の問題点として、①聞き書き調査の難しさ及び問題、②他学会との調査内容の差別化、③調査目的の明確化(記録だけでは弱い。市販する場合は対象、内容の検討が必要)、④今までの調査のデータベースを整理して利用、等の意見が出され、企画広報で検討し、再提案する。
- 4) 委員会の組織について
 

学会賞選考委員会は、委員長を香西みどり副会長とし、長尾慶子副会長、大谷貴美子理事および四宮陽子理事、菅原悦子および津田淑江両支部長の5名を委員とする報告があった。

規程検討委員会は、香西みどり副会長を委員長とし、和泉眞喜子理事、杉山智美理事および今井悦子監事を委員とする旨の報告があった。
- 5) その他
  - ①次期(平成25年度)大会について(資料5)
    - ・高村仁知近畿支部長より次年度大会は平成25年8月23・24日に開催する旨の説明があった。
  - ②次々期(平成26年度)大会について(資料5)
    - ・資料が提示され、平成26年度大会は中国・四国支部の担当である旨、確認された。
  - ③代議員総会の開催時期について
    - ・一般社団法人化に伴い、年度初から3ヶ月以内に総会を開催する必要があるため、4~6月の間に総会を開催する。
    - ・6月までにシンポジウムなども考慮中である。
  - ④③と関連して、大会の開催時期、年度の見直しなど
    - ・大会の時期としては8月が好ましい、等の意見が出された。

以上

署名人	議長	大越 ひろ	印
	理事	長尾 慶子	印
	監事	今井 悦子	印